

香川ダルクフォーラム



テーマ：「死にたい」と「生きていたくない」はどうちがうのか？

開催日時：令和 8年 3月 15日（日） 13時～16時（12時半開場）

《講師ご紹介》

◆ 倉田 めば 氏（Freedom代表、大阪ダルクディレクター）



～プロフィール～

尾道市出身。大阪写真専門学校卒業。

1993年フォトグラファーの仕事をやめ薬物依存回復施設「大阪ダルク」を設立。2002年、薬物依存症からの回復を支援する市民団体「Freedom」を多くの賛同者とともに設立。新たな社会資源の創出に向けて奔走中。

メンタルヘルス・ソーシャルワーカー。
パフォーマンス・アーティスト。

14歳の時から、シンナー、鎮痛剤、大麻、処方薬などを乱用し始める。18歳の時に東京に家出。リストカットも止まらなくなる。22歳、薬物依存と自傷のため初入院。以降29歳まで4回の入退院を繰り返す。20代の2年近くを精神科病棟で過ごす。仕事はアダルト業界カメラマン。29歳の時、自助グループと依存症の回復施設につながり、クリーン（薬物を使わない生活）が始まり現在に至る。

◆精神科医 吉田 精次 氏（藍里病院 副院長）

◆精神科医 井上 麻由 氏（藍里病院 医局長）

◆弁護士 安西 敦 氏（ひだまり法律事務所&カウンセリングオフィス 代表）

参加費：**無料** ※申し込み不要、当日参加OK

会場：サンメッセ香川（2F 小会議室1～3）

住所：香川県高松市林町2217-1



（主催）香川ダルク

《香川ダルクホームページ》

（お問合せ先）香川ダルク ディレクター 村上 亨



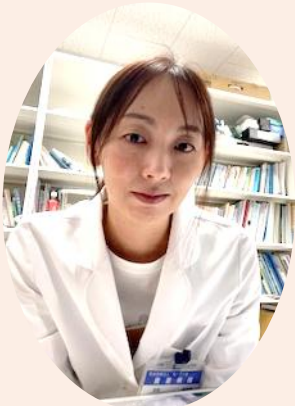
（TEL）080-3994-4173 （Mail）kdarc1212@gmail.com

～ 講師プロフィール ～



精神科医 吉田 精次 氏（藍里病院 副院長）

1981年、徳島大学医学部卒。2001年からアルコール依存症治療を開始。徳島刑務所における薬物離脱教育を6年間担当。2007年からギャンブル依存症の治療も開始。現在は依存症全般を専門として治療にあっている。依存症家族勉強会を2005年から院内で毎月開催。依存症問題に悩む家族のための強力な援助プログラムであるCRAFTを全国的に広める活動を行っている。アルコール問題の一次予防活動として小学校6年生から高校生を対象に、ダルクのメンバーと共に「アルコール・薬物乱用防止教育」の出前授業も行っている。自殺予防活動として自殺予防面接技法研究会を主宰。



精神科医 井上 麻由 氏（藍里病院 医局長）

2005年徳島大学医学部卒業。精神科医師16年目。今でも忘れません。10年前に突然私の診察室に迷い込んだギャンブラー。それまでの人生、どちらが正解かどちらが有利かの目利きを磨くことこそ生きることに、みんなそうだと疑わなかった私には、彼が語る言葉見せる行動全てが青天の霹靂。診察前には毎回、負けてはいけないと心と理論の武装をしていました。戦闘モードでスタートしたこの10年ですが、武装は役に立たず、薄っぺらい諭しは見抜かれ無力を痛感し、ようやく肩の力が抜けてきた近ごろです。正解か否かが通用しない彼らの瞳にうつる景色を一緒にみていたいと、日々診察室で過ごしています。



弁護士 安西 敦 氏（ひだまり法律事務所&カウンセリングオフィス 代表）

1994年同志社大学卒業。
2000年弁護士登録。
2006年10月～2017年3月まで香川県弁護士会所属。
2012年香川大学大学院教育学研究科修了。
2014年臨床心理士登録、2019年公認心理師登録。
2020年、京都市でひだまり法律事務所&カウンセリングオフィスを開設。弁護士として薬物事件弁護に関わる中で、薬物を使う人たちに対して刑事司法が重大な害悪にしかなくなっていなかったことに気づき、司法以外のアプローチを求めて、香川ダルク支援会に関わるようになった。

～ 会場案内 ～



サンメッセ香川へのアクセス

＜高松駅より＞

- ・ 路線バス＜JR高松駅～サンメッセ香川＞ 約30分
※JR高松駅 バスターミナル（8番乗り場）より【サンメッセ・川島・西植田線】にご乗車、「サンメッセ香川」バス停にて降車ください。

＜お車でお越しの方へ＞

- ・ 高松中央ICより車で約2分
※駐車場あり（無料）